

日本労働者の良心にかけて決起

とどけ、この声！ 侵略と戦争に反対し闘う全世界の人民に

日刊 動労千葉

83. 11. 14
No. 1492

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六・公衆）〇四七二（22）七二〇七

「11・9レーガン来日阻止・中曽根内閣打倒全国総決起集会」は、十一月九日、十時、多摩川緑地公園において開催されました。全世界で戦争の火種をまきちらす、戦争屋・レーガンの来日に対し、総評・社会党が「反対」の声すらあげない否定すべき現状のなかで、集会には二万の機動隊による戒厳体制をもたせず、動労千葉の二七〇名を先頭に全国から四五〇〇名の闘う仲間が結集して闘いぬきました。集会における各代表の発言要旨を紹介します。

正しい指導があれば労働者は決起する
—— 動労千葉 中野委員長 ——

世界で戦争をまきちらしているレーガンが来るという重大な事態に直面して、総評をはじめ抗議行動ひとつ起こさない現実に怒りをこめて弾劾する。

労働運動は何よりも、戦争に反対する闘いを第一に闘わねばならない。そのことをぬきに、労働者の生活もしあわせも絵にかいたもちである。

動労千葉は、日本の労働運動の戦闘的伝統に踏まえて決起した。危機の時代だからこそ、反戦・政治闘争を第一義に闘っていかねばならない。

レーガンのグレナダ武力侵略は、米帝の危機のあらわれだ。戦争によつてしか体制を維持できないからである。

中曽根もそうだ。泥沼の危機にあるからこそ、軍大化・改憲、行革をやってきている。だからこそ、レーガンの来日を阻止し、中曽根に今こそ労働者の力を示さねばならない。

今日、労働者の闘いは低迷しているが、労働者は怒りをもつて決起をすすめている。正しい指導があれば必ずや決起する。
動労千葉は、その先頭に起つて決起したい。

二期阻止こそ人民の勝利をもたらす
—— 三里塚・芝山連合空港反対同盟
北原事務局長 ——

レーガンが今日、明日に着くとも着かないと定かでない、到着時間もいえないことは何を示しているのか。それは、レーガンの来日を国民が受け入れていないからだ。

何のために今頃来日するのか。軍拡と戦争へ歩ませるために来るんだ、ということを確認しようではないか。米帝は、日本の軍備を強化させ、戦争への防波堤として使おうとしている。中曽根はこれを受け入れようとしている。

戦争への道をはばむのは、ここに集まった人々が中心的存在を任い、日本人民のために声を大に来日を阻止する意志表示を行わねばならない。

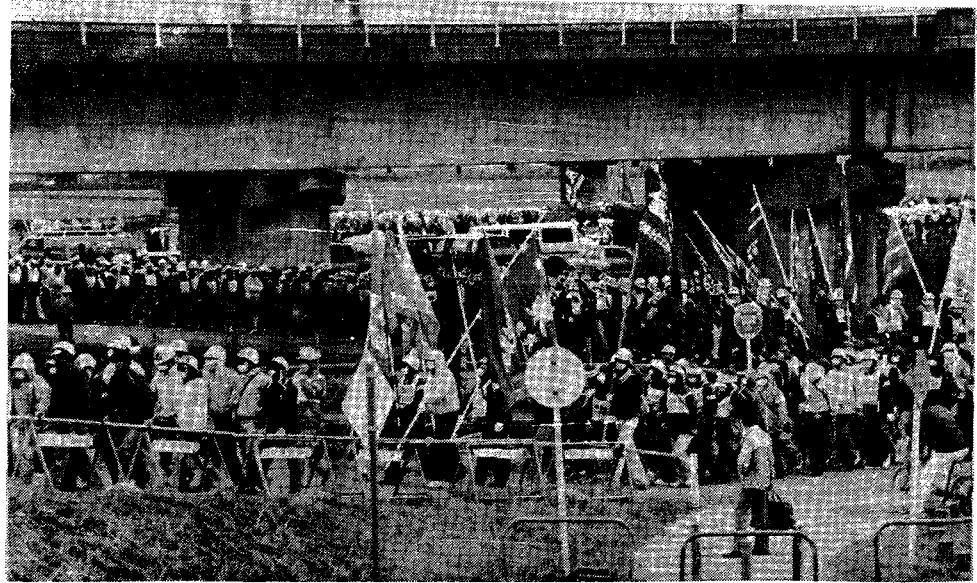
昨年二月、日米韓合同演習の米軍五〇〇名が成田に降りたち、北富士、米軍基地に配属された。

成田は平和空港ではない。軍事基地として二期を進めようとしている。二期ない論はとんでもない。公団は百五十億円の予算を繰り越し、いつでも二期に使用できるのが裏付けた。

三里塚は代償を求めることなく、「大地共有委員会」のぎまんの運動を弾劾して闘っている。真実は一つしかない。

二期を阻止し、反戦、反核の砦として闘いぬく。それが人民の勝利をもたらすと確信している。

日米合同演習を阻止し軍用道路を粉碎する
—— 北富士忍草母の会 渡辺会長 ——
戦争屋レーガンの来日を絶対許せない。中曽根は軍事大国化・改憲に一気に突き進むとしている。もはや中曽根を打倒する以外にない。ここに集まった人々が、中曽根を打倒する勢力です。忍草は、10・24ゲリラで決起し、実弾演習を阻止しました。今後、どのような弾圧があろうと敗けません。日米合同演習を阻止し、軍用道路を粉碎する。
三里塚二期を阻止し、中曽根を打倒しよう



「のべ9万人」の超敵体制をうちやぶって、羽田空港へむけてデモに出発する動労千葉270名の隊列（11月9日、多摩川緑地公園）